

オリンピック選手に続け！ 夢に向かう子どもたち

東京オリンピックのスケートボード種目で銀メダルを獲得した開心那選手。彼女の練習拠点の一つである屋内スケートボード場「HOLOWL skate park（ホットボウルスケートパーク）」が北区新築にあります。今月はスケートボードの魅力や、夢に向かう子どもたちに迫ります。



きっかけはテレビで見た 彼女の姿

キッズスクールに来ていた宮武葉里さん（小学三年生）はきょうだい三人での参加。今回の参加は、葉里さんがオリンピックを見て開選手に憧れたのがきっかけ。レッスンでは、インストラクターの説明を真剣に聞きながら一生懸命練習に励んでいました。「すごく楽しいです。（開選手のように）上手に滑れたらもっと面白くなると思うので、続けていきたいです」と姉の柚季さん（小学五年生）。目指せ！きょうだいオリンピック出場！

オリンピック選手に近づく 第一歩

菊地湊明さん（小学三年生）はスケートボードを始めて三年半。毎日練習に励んでいます。新しい技ができるたびに達成感があり、どんどん次の技

に挑戦したくなると話します。「開選手はスピードがあつて、近くで見ると迫力がすごいです。私もスケートボードで有名になりたい、オリンピックに出て活躍してみたいです」と目を輝かせていました。

子どもたちの未来のために

オリンピックをきっかけに小さい子の参加が増えてきたと高木啓吾店長（左写真・一番左）。スケートボードの魅力は、怖さを乗り越える達成感や喜び、国籍年齢関係なく全世界に友達ができることなど、たくさんあるといえます。高木店長は、「開選手のほかにも世界で活躍する実力のある選手が所属しています。みんなの力を伸ばす手助けをしていきたいです」と話してくれました。



広告